



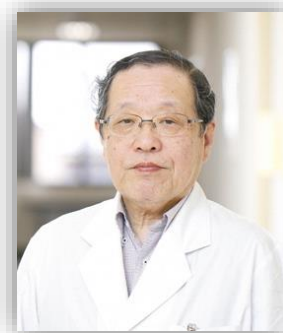
スクラム

Vol.60

2020.4

《 令和2年度に向けて 》

病院事業管理者 高田 重男



令和1年12月中華人民共和国の湖北省武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染は、令和2年1月16日に日本で初めて報告され、その後急激に感染の拡大がみられています。4月7日には7都道府県に緊急事態宣言が、4月16日にはすべての都道府県に拡大され、特に石川県を含む13都道府県は特定警戒都道府県に指定されました。

当院は、石川県にある5つの感染症指定病院のひとつであり、新型コロナウイルス感染症の受け入れを積極的に行ってきました。結核病床の利用等により、コロナ病床として28床の確保を行いました。この新型コロナウイルス感染症をコントロールするためには、検査薬、治療薬、ワクチンの開発が必須であり、少なくとも1年半の経過が必要となります。令和2年度は、新型コロナウイルスに対する対応と、救急医療をはじめとする従来の医療の対応の両立を行う必要があります。柔軟な発想で対処したいと考えております。新型コロナウイルス対応では、ますますかかりつけ医と病院、病院間の連携が必要となります。今後ともよろしくご指導お願いいたします。

本年度、当院では長年の課題であった病院事業管理者と病院長の分離を行いました。病院事業管理者としては、従来の高田が、病院長としては松下栄紀が就任いたしました。二人で力を合わせ、病院の診療、経営、管理にあたりたいと存じます。また、脳神経外科南出、循環器内科村井、呼吸器内科古荘、健康管理センター池田が新しく診療科長として就任いたしました。消化器外科1名、消化器内科1名、内科専攻医1名、研修医4名が新たに加わり、新しい体制で地域医療に取り組んでいきます。

当院は、新型コロナウイルス感染の問題はありますが、病院の再開発も控えており、新しい地域医療の担い手となるよう諸問題に取り組んでいきます。今後とも、ご指導、ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

《 院長就任のご挨拶 》

院 長 松 下 栄 紀

令和2年4月より金沢市立病院院長を拝命することとなりました。金沢市立病院での勤務は平成元年4月～平成2年3月、平成12年4月～平成13年9月に続いて3回目となります。その間、病床数80床の病院長を12年半、174床の病院長を6年間経験してきましたが、金沢市立病院は300床とさらに大きく、重圧を感じる毎日です。



18年6か月ぶりの金沢市立病院は、新型コロナウイルス感染症との奮闘の真只中にありました。新型コロナウイルス感染症は未知の感染症であり、季節性インフルエンザに比して肺炎の発生頻度も高く、また急激に悪化するケースもあり、現時点では明確な治療法やワクチンもないことから、軽症例が多いとはいえ目に見えない敵との戦いでもあり、常に不安感は拭えません。院内感染を発生させないことを第一に考えて感染予防策を徹底し、指定感染症病院として職員一同使命感を持って協働して対応してまいります。

また、医療界は少子高齢・人口減少社会を迎え働き手が減少するなか、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて国が進める地域医療構想や、医師をはじめとする医療従事者の働き方改革など様々な課題を抱えています。当院の将来構想においては、感染症や結核医療、災害派遣医療チーム（DMAT）配備など、公立病院としての機能を維持しながら、急性期病院として求められる役割を果たすため、近隣の医療機関や介護関係施設などとの連携及び機能分化をどのように諮っていくかが大きな命題となっています。高田重男事業管理者と歩調を合わせ、病院理念である「市民の生命と健康を守るため、地域のニーズを反映し市民に信頼される質の高い病院」を目指して、その実現に努力してまいります。地域の医療機関や関係機関の方々、地域住民の方々のさらなるご指導とご支援をお願いいたします。



《 心不全パンデミック！？ 》

循環器内科 科長

村井 久純

本年4月より金沢市立病院循環器内科・科長として働かせて頂くこととなりました村井 久純（ひさよし）と申します。前年は、金沢大学附属病院・循環器内科の新教授である高村雅之先生のもとで勤務していました。大学時代は主に、高田重男先生（現、金沢市立病院事業管理者）の立ち上げられた自律神経評価法を引き継ぎ、循環器疾患において特に、心不全における交感神経活動反応の検討を重ねてきました。



昨今、ご存じのようにコロナウイルスの流行が蔓延しており、パンデミックという言葉が一般化しています。このパンデミックという言葉は、循環器疾患の領域においては、厚生労働省の「2016年度国民医療費の概況」において、心不全患者の急増が著しい状況を「心不全パンデミック」と表現されています。現在、100万人規模とされる我が国の慢性心不全患者は、70%以上が75歳以上を占めています。これから、団塊の世代が75歳以上に達する5年後の2025年には125万人を超えると予測され、時間とともにさらに増加していくと考えられます（本原稿を書いている時点においてコロナウイルス感染症患者は1万219人）。

莫大な数の心不全患者を、どのようにまたどこまで治療していくかという問題は、これから解決していかなければならない大きな課題だと思っています。現在、その対策として新たな治療法の実用化や医療体制整備の必要性が叫ばれています。中でも、地域全体で慢性心不全患者を管理する体制の必要性が急務とされています。慢性心不全患者の約20～40%が1年以内に再入院する現状を考えると、地域での連携および支援体制の充実が必要と思われます。

まだ、金沢市立病院に赴任して1カ月もたっていない状態で、まだまだなのですが、循環器疾患治療の地域との連携、そして金沢市立病院の基幹病院としての役割を今後築き上げていきたいと考えています。心不全は、あらゆる循環器疾患の最終病態であるため、初期の病態からでも、かかりつけ医の先生方と連携して患者様の治療を行いたいと思います。どのような状態の患者様でも、是非、ご紹介いただければ幸いです。

今後ともよろしく願いいたします。

《 当院における脳卒中に対する取り組み 》

脳神経外科 科長

南出 尚人

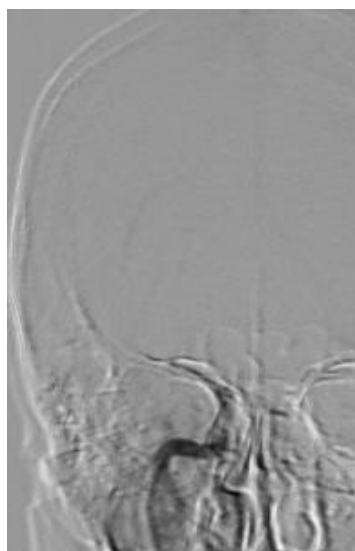
昨年9月より、当院は一次脳卒中センター（Primary Stroke Center : PSC）に認定され、脳卒中疾患の受け入れを強化しております。急性期脳梗塞に対しrt-PAの静注療法を行い、さらに脳主幹動脈閉塞症を伴う場合には血栓回収術を行っております。



この4月から、金沢大学脳神経外科教室より毎週火曜日に当直医を派遣して頂くことになり、これに当院の脳神経外科、神経内科当直を加えると月に14日間（およそ月の半分）で、脳神経系専門医による直接対応が可能となりました。加えて、それ以外の内科当直日においても、救急外来にて発症4時間半までの脳梗塞に対して、脳神経外科医の指示のもとrt-PAの静注療法を行い、すみやかに治療を開始します。

また脳梗塞だけでなく、くも膜下出血や脳出血などの出血性脳卒中に対してもCT、MRI、血管造影検査を365日/24時間稼働し、開頭手術や脳血管内手術を行い良好な治療成績をあげております。

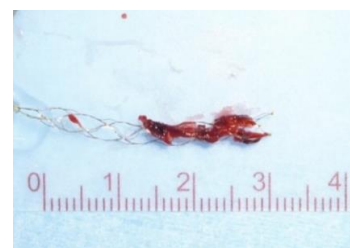
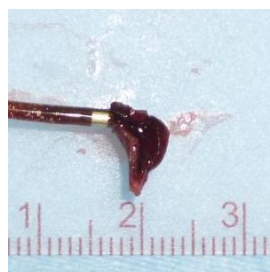
当院では脳神経外科専門医を含む3名で対応し、脳血管内治療専門医や脳卒中専門医も在籍しており、すべての脳卒中に対し最新で高度な医療を提供しております。患者さんのご紹介をどうぞ宜しくお願いいたします。



治療前



治療後



回収された血栓



《 新任医師紹介 》

令和2年4月1日に、院長（消化器内科）、各科医師9名が着任しました。より一層の病診連携に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



循環器内科長
むらい ひさよし
村井 久純
[得意分野]
心不全管理・
冠動脈形成術

2020年3月まで金沢大学附属病院循環器内科にて外来医長として働いておりました。4月より金沢市立病院にて、これまで学んできたことを十分に発揮できるよう精進したいと思っております。



外科医長
にしだ ようじ
西田 洋児
[得意分野]
大腸外科

石川県立中央病院より異動となりました。大腸癌、ヘルニア、虫垂炎に対する腹腔鏡下手術に取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



内分泌・糖尿病内科医長
あさくら ひろき
朝倉 大貴
[得意分野]
糖尿病・甲状腺疾患

生活習慣病は、食事・運動などの生活習慣改善を含めた治療が大切です。私の外来受診をきっかけに患者さんが自分の病気をよく知り、一緒に治療を考えていければと思います。よろしくお願いいたします。



循環器内科医長
すぎもと ひろゆき
杉本 寛之
[得意分野]
循環器一般

よろしくお願いいたします。



呼吸器内科医長
たけだ よしひろ
武田 仁浩
[得意分野]
呼吸器一般

卒後10年目になります。内科・呼吸器全般を幅広く診療しています。どうぞよろしくお願いいたします。



整形外科医長
なかだ みか
中田 美香
[得意分野]
整形外科一般・
手外科

金沢大学附属病院からの異動で、4月から勤務させていただきます。整形外科のなかでも、手外科を専門としています。地域住民の方々のお役に立てるように頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科
よしだ りょうた
吉田 亮太
[得意分野]
消化器一般

公立つるぎ病院より異動となりました。消化器内科を専門としています。地域の方々のお役に立てるよう、一生懸命頑張っていきます。よろしくお願いいたします。



腎臓・リウマチ科
おち まさひこ
越智 雅彦
[得意分野]
腎臓・透析・
膠原病・高血圧

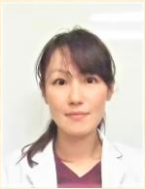
腎臓や膠原病などの分野を専門としています。皆様のお力になれるように頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



脳神経外科
たかはし ひろのり
高橋 宏典
[得意分野]
外傷

私たちの科の疾患は深刻なものも多く、患者さんの不安は大きいと思われます。その不安を和らげ、これからの人生に希望をもっていただけるような診療を目指します。よろしくお願いいたします。

《 専攻医・臨床研修医紹介 》



専攻医

いわき ゆきな
岩木 友希菜

これまで産婦人科医として勤務して参りましたが、新たに内科を勉強させていただくことになりました。よろしくお願いたします。



臨床研修医

さいとう ひろあき
齋藤 寛晃

患者さんと医療者側の両方の視点に立って研修していくことを目標に努力してまいります。短い間ですが、よろしくお願いたします。



臨床研修医

たかしま よしと
高嶋 吉人

わからないことばかりで右往左往する姿をお見せするかもしれませんが、元気が取り柄ですので一生懸命頑張ります。よろしくお願いたします。



《 地域連携室職員紹介 》

地域連携室は高桑医師を室長とし、看護師、社会福祉士、事務職員と多職種で日々業務にあたっています。新年度から新しい職員が加わり、より一層の連携強化に努めてまいります。

紹介患者様の受診や開放病床の利用、その他お気軽に地域連携室にお問い合わせください。なお、入院患者様の入退院支援につきましては、入退院支援室が担当させていただきます。



地域連携室（入院センター）

（左より）藤本事務員、山田事務員、鶴見看護師、前田社会福祉士、高桑室長、瀬戸看護師長、家弓事務員



入退院支援室

（後列左より）當間看護師、山田看護師、濱崎社会福祉士、橋浦社会福祉士、佐藤社会福祉士、（前列左より）平林看護師、廣田看護師、坂本副室長、長谷川看護師長



金沢市立病院 地域連携室

〒921-8105 金沢市平和町3丁目7番3号

TEL:245-2626(直通) FAX:245-2693(直通)

<http://kanazawa-municipal-hosp.com/>